

スマート・ラップ・グローバル・インカム (毎月分配型)

設 定 日 : 2014年12月22日

償 還 日 : 2022年11月21日

決 算 日 : 原則毎月20日

収 益 分 配 : 決算日毎

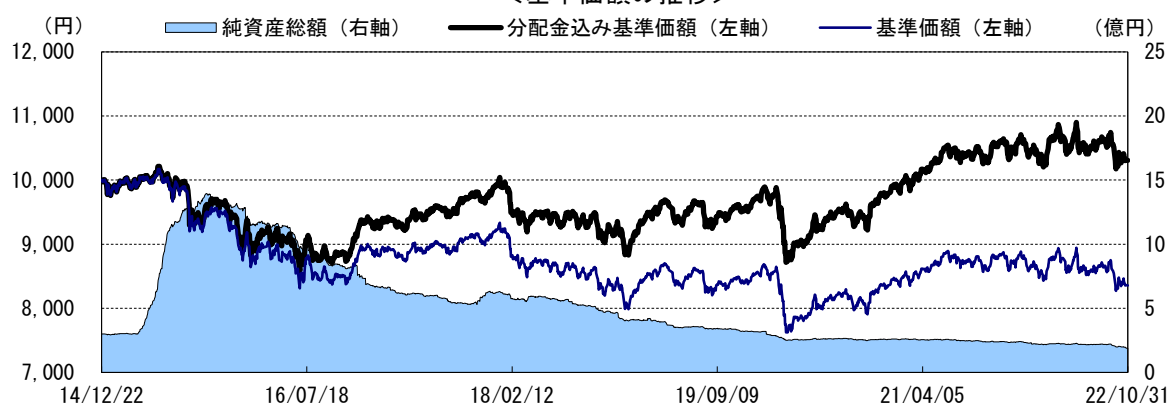
基 準 価 額 : 8,358円

純資産総額 : 1.89億円

運 用 実 績

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
0.80%	-2.64%	-3.19%	-2.12%	7.29%	3.07%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	21-11-22	21-12-20	22-1-20	22-2-21	22-3-22
1,820円	240円	20円	20円	20円	20円	20円
22-4-20	22-5-20	22-6-20	22-7-20	22-8-22	22-9-20	22-10-20
20円	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額		8,311円	8,311円
当月お支払いした分配金		-20円	-20円
要 因	債券	高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）	5円
		ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	-14円
		米国長期国債（円ヘッジ）マザーファンド	-27円
		ABF汎アジア債券インデックス・ファンド	-15円
		ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	12円
		SPDR ポートフォリオ・インターミディエイト・ターム・コーポレート・ボンド ETF	-7円
		ファースト・トラスト タクティカル・ハイ・イールド ETF	0円
		ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA	-1円
		ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスB	0円
		アジア・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA（JPYヘッジ・ユニット）	-16円
		アジア・コーポレート・ボンド・ファンド クラスB（アンヘッジ・ユニット）	1円
	株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジ・クラス	12円
		インデックスファンド海外株式（ヘッジあり）	12円
		ナチュラル・リソース・ファンド 日本円・クラス	32円
		先進国資本エマージング株式マザーファンド	15円
不動産		グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	8円
		アジア・プロパティ・ファンド（適格機関投資家向け）	-18円
商品・その他		iシェアーズ S&P GSCIコモディティ・インデックス・トラスト	16円
		iシェアーズ ゴールド・トラスト	-5円
その他		57円	57円
当月末基準価額		8,358円	8,358円

※左記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

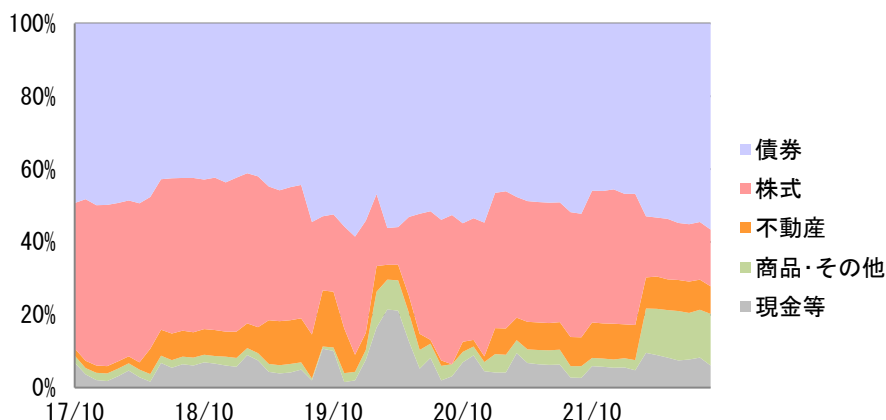
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<ファンド別配分比率>

資産	ファンド名	比率
債券	高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%
	ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	0.0%
	米国長期国債（円ヘッジ）マザーファンド	0.0%
	ABF 汎アジア債券インデックス・ファンド	0.0%
	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	0.0%
	SPDR ポートフォリオ・インターミディエイト・ターム・コーポレート・ボンド ETF	0.0%
	ファースト・トラスト タクティカル・ハイ・イールド ETF	0.0%
	ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA	0.0%
	ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド クラスB	0.0%
	アジア・コーポレート・ボンド・ファンド クラスA（JPYヘッジド・ユニット）	0.0%
	アジア・コーポレート・ボンド・ファンド クラスB（アンヘッジド・ユニット）	0.0%
株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	0.0%
	インデックスファンド海外株式（ヘッジあり）	0.0%
	ナチュラル・リソース・ファンド 日本円・クラス	0.0%
	先進国資本エマージング株式マザーファンド	0.0%
不動産	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%
	アジア・プロパティ・ファンド（適格機関投資家向け）	0.0%
商品・その他	iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト	0.0%
	iシェアーズ ゴールド・トラスト	0.0%
現金等	現金・その他	100.0%

<資産構成比率の推移>

※比率は当ファンドの純資産総額比です。



※比率は当ファンドの純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

各資産の運用状況

資産クラス：債券

高金利先進国ソブリン債券ファンド【組入比率：0.0%】

※当ファンドが組み入れている「高金利先進国債券マザーファンド」の内容です。



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
4.70%	-0.13%	3.27%	2.89%	16.22%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	4.27%
デュレーション	8.26年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜残存期間別比率＞

残存期間	比率
1年未満	3.4%
1～3年	11.5%
3～7年	32.1%
7～10年	12.3%
10年以上	39.4%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

＜種別構成比率＞

種別	比率
国債	57.7%
特殊債	23.0%
地方債	17.9%
金融債	0.0%
事業債	0.0%

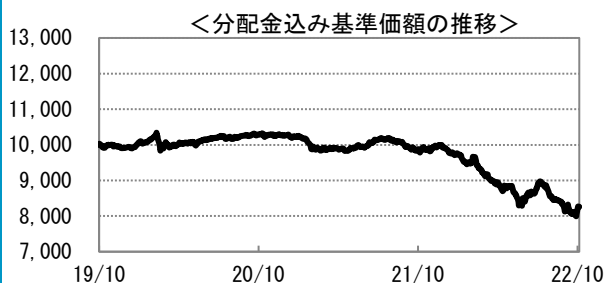
※当マザーファンドの純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	71.4%
A A	28.6%
A	0.0%
B B B	0.0%
その他	0.0%

※当マザーファンドの対組入債券評価額比です。

ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド【組入比率：0.0%】



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
1.44%	-7.54%	-7.70%	-16.13%	-17.43%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	3.46%
デュレーション	8.32年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜残存期間別比率＞

残存期間	比率
1年未満	0.0%
1～3年	0.0%
3～7年	15.2%
7～10年	56.4%
10年以上	27.9%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

＜種別構成比率＞

種別	比率
国債	51.1%
特殊債	40.1%
地方債	8.3%
金融債	0.0%
事業債	0.0%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	28.5%
A A	71.5%
A	0.0%
B B B	0.0%
その他	0.0%

※当マザーファンドの対組入債券評価額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：債券

米国長期国債（円ヘッジ）マザーファンド【組入比率：0.0%】

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
-1.86%	-10.23%	-8.89%	-17.43%	-15.65%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	4.18%
デュレーション	8.01年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<残存期間別比率>

残存期間	比率
1年未満	0.0%
1～3年	0.0%
3～7年	0.0%
7～10年	104.6%
10年以上	0.0%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

<種別構成比率>

種別	比率
国債	104.6%
特殊債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

<格付別比率>

格付	比率
A A A	100.0%
A A	0.0%
A	0.0%
B B B	0.0%
その他	0.0%

※当マザーファンドの対組入債券評価額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

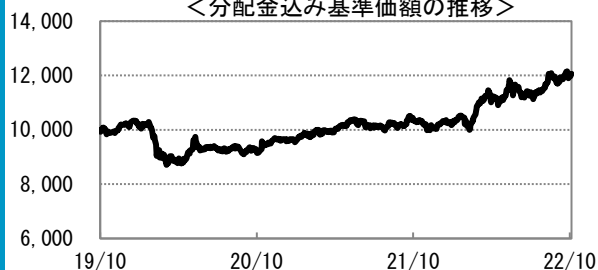
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：債券

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド
クラスA

【組入比率：0.0%】

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
2.91%	7.06%	8.86%	16.68%	20.61%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	8.83%
デュレーション	1.06年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<残存期間別比率>

残存期間	比率
1年未満	44.0%
1～2年	31.5%
2年超	20.4%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

<組入上位10通貨>

通貨名	比率
メキシコペソ	16.0%
インドルピー	14.7%
インドネシアルピア	12.8%
ブラジルレアル	12.8%
ポーランドズロチ	11.2%
南アフリカランド	9.6%
人民元	7.3%
コロンビアペソ	6.6%
チリペソ	5.0%
フィリピンペソ	1.9%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別比率>

格付	比率
A A A	95.9%
A A	0.0%
A	0.0%
B B B 以下	0.0%
平均格付	Aaa

※当外国投資信託の純資産総額比です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

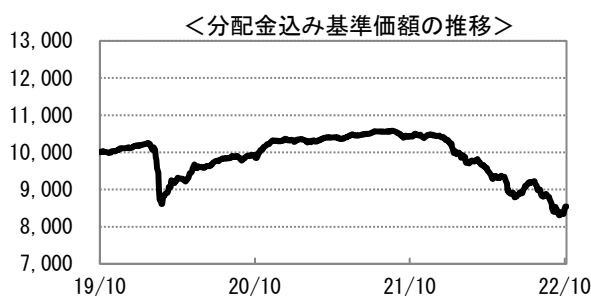
投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：債券

ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・
ボンド・ファンド クラスA

【組入比率：0.0%】



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
1.69%	-6.41%	-10.20%	-18.18%	-14.56%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	7.52%
デュレーション	4.06年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜組入上位5業種＞

業種	比率
金融	35.1%
生活必需品	13.9%
一般消費財	13.2%
通信	8.9%
公益事業	8.5%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜組入上位5カ国＞

国別	比率
イギリス	28.7%
フランス	15.8%
ドイツ	12.3%
イタリア	9.6%
スペイン	5.2%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	0.0%
A A	0.0%
A	16.0%
B B B	39.3%
その他	44.6%
平均格付	BBB

※当外国投資信託の純資産総額比です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・
ボンド・ファンド クラスB

【組入比率：0.0%】



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
7.23%	0.06%	-2.49%	-9.22%	4.65%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	7.52%
デュレーション	4.06年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りで、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜組入上位5業種＞

業種	比率
金融	35.1%
生活必需品	13.9%
一般消費財	13.2%
通信	8.9%
公益事業	8.5%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜組入上位5カ国＞

国別	比率
イギリス	28.7%
フランス	15.8%
ドイツ	12.3%
イタリア	9.6%
スペイン	5.2%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	0.0%
A A	0.0%
A	16.0%
B B B	39.3%
その他	44.6%
平均格付	BBB

※当外国投資信託の純資産総額比です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

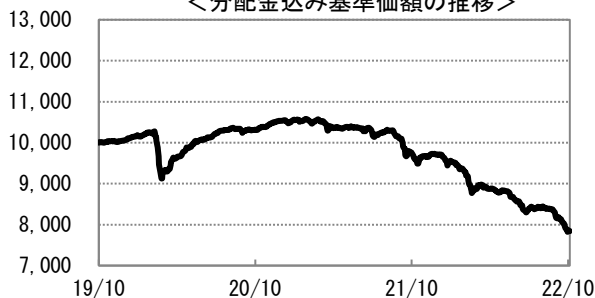
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：債券

アジア・コーポレート・ボンド・ファンド
クラスA（JPYヘッジド・ユニット）

【組入比率：0.0%】

＜分配金込み基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
-3.83%	-6.63%	-11.54%	-19.40%	-21.57%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	9.28%
デュレーション	2.97年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回り、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜組入上位5業種＞

業種	比率
銀行	16.3%
各種金融サービス	13.2%
保険	9.6%
不動産	7.5%
石油・ガス	6.9%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜組入上位5カ国＞

国名	比率
中国	41.0%
香港	22.2%
インド	10.0%
インドネシア	4.5%
韓国	3.6%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	0.0%
A A	0.7%
A	15.3%
B B B	48.4%
その他	35.6%
平均格付	BBB-

※当外国投資信託の純資産総額比です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

アジア・コーポレート・ボンド・ファンド
クラスB（アンヘッジド・ユニット）

【組入比率：0.0%】

＜分配金込み基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
-1.51%	3.29%	3.10%	6.86%	10.50%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

最終利回り	9.28%
デュレーション	2.97年

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回り、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

＜組入上位5業種＞

業種	比率
銀行	16.3%
各種金融サービス	13.2%
保険	9.6%
不動産	7.5%
石油・ガス	6.9%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜組入上位5カ国＞

国名	比率
中国	41.0%
香港	22.2%
インド	10.0%
インドネシア	4.5%
韓国	3.6%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

＜格付別比率＞

格付	比率
A A A	0.0%
A A	0.7%
A	15.3%
B B B	48.4%
その他	35.6%
平均格付	BBB-

※当外国投資信託の純資産総額比です。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：株式

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド
アンヘッジド・クラス

【組入比率：0.0%】

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
9.07%	4.51%	6.00%	18.90%	39.97%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

予想配当利回り	3.96%
---------	-------

※上記利回りは、信託報酬等を考慮しておりませんので投資者の皆様の実質的な投資成果や将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 112銘柄）

	銘柄	国名	比率
1	Pfizer Inc.	アメリカ	4.8%
2	Coca-Cola Company	アメリカ	4.6%
3	Cisco Systems, Inc.	アメリカ	3.3%
4	Merck & Co., Inc.	アメリカ	3.3%
5	Broadcom Inc.	アメリカ	3.3%
6	Bristol-Myers Squibb Company	アメリカ	3.0%
7	Philip Morris International Inc.	アメリカ	2.6%
8	Texas Instruments Incorporated	アメリカ	2.6%
9	CVS Health Corporation	アメリカ	2.2%
10	Roche Holding Ltd Dividend Right Cert.	スイス	2.1%

※当外国投資信託の純資産総額比です。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<組入上位5カ国>

	国名	比率
1	アメリカ	62.4%
2	日本	8.1%
3	スイス	7.4%
4	イギリス	6.4%
5	カナダ	2.6%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

<組入上位5業種>

	業種	比率
1	ヘルスケア	20.0%
2	生活必需品	19.8%
3	金融	12.6%
4	情報技術	11.7%
5	資本財・サービス	11.2%

※当外国投資信託の純資産総額比です。

インデックスファンド海外株式（ヘッジあり）

【組入比率：0.0%】

※当ファンドが組み入れている「海外株式MSCI-KOKUSAI（ヘッジあり）マザーファンド」の内容です。

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
6.56%	-4.36%	-7.17%	-14.96%	23.80%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 1143銘柄）

	銘柄	業種	比率
1	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア	5.1%
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	3.4%
3	AMAZON.COM INC	小売	1.9%
4	TESLA INC	自動車・自動車部品	1.2%
5	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	1.2%
6	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.1%
7	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	1.0%
8	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	0.9%
9	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー	0.9%
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	0.8%

※当マザーファンドの純資産総額比です。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<組入上位5カ国>

	国名	比率
	アメリカ	74.0%
	イギリス	3.8%
	カナダ	3.5%
	スイス	3.1%
	フランス	2.8%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

<組入上位5業種>

	業種	比率
	ソフトウェア・サービス	10.0%
	医薬品・バイオテクノロジー	8.6%
	テクノロジー・ハードウェア	6.5%
	資本財	6.0%
	エネルギー	5.7%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：株式

ナチュラル・リソース・ファンド 日本円・クラス

【組入比率：0.0%】

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 70銘柄）

	銘柄	国名	比率
1	NUTRIEN LTD	カナダ	5.4%
2	SHELL PLC-ADR	イギリス	5.2%
3	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	4.5%
4	BHP GROUP LTD-SPON ADR	オーストラリア	3.8%
5	FREEPORT-MCMORAN INC	アメリカ	3.7%
6	TOTALENERGIES SE -SPON ADR	フランス	3.6%
7	CHEVRON CORP	アメリカ	3.6%
8	CORTEVA INC	アメリカ	3.4%
9	VALE SA-SP ADR	ブラジル	2.7%
10	ANGLO AMERICAN PLC-SPONS ADR	南アフリカ	2.4%

※当外国投資信託の組入株式評価総額比です。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<組入上位5カ国>

	国名	比率
1	アメリカ	59.5%
2	カナダ	14.9%
3	イギリス	9.4%
4	オーストラリア	6.2%
5	フランス	3.6%

※当外国投資信託の組入株式評価総額比です。

<組入上位3業種>

	業種	比率
1	素材	46.9%
2	エネルギー	42.9%
3	資本財	4.8%

※当外国投資信託の組入株式評価総額比です。

先進国資本エマージング株式マザーファンド

【組入比率：0.0%】

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
2.81%	2.49%	0.31%	4.86%	18.12%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 74銘柄）

	銘柄	国名	比率
1	UNILEVER INDONESIA TBK PT	インドネシア	3.2%
2	AMBEV SA-ADR	ブラジル	2.8%
3	ANGLO AMERICAN PLATINUM LTD	南アフリカ	2.8%
4	KOMERCNI BANKA AS	チェコ	2.7%
5	YIHAI KERRY ARAWANA HOLDIN-A	中国	2.7%
6	WALMART DE MEXICO -SER V	メキシコ	2.5%
7	ZHEJIANG SUPOR CO LTD -A	中国	2.5%
8	SIEMENS LTD	インド	2.5%
9	ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	インドネシア	2.4%
10	NESTLE INDIA LIMITED	インド	2.3%

※当マザーファンドの純資産総額比です。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<組入上位5カ国>

	国名	比率
1	インド	22.7%
2	中国	14.5%
3	ブラジル	12.0%
4	インドネシア	8.7%
5	南アフリカ	6.8%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

<組入上位5業種>

	業種	比率
1	電気通信サービス	16.4%
2	食品・飲料・タバコ	13.7%
3	銀行	12.6%
4	素材	12.4%
5	家庭用品・パーソナル用品	9.0%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

資産クラス：不動産

グローバル・リアルエステート・ファンド

【組入比率：0.0%】

※当ファンドが組み入れている「世界REITマザーファンド」の内容です。

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
7.97%	-3.94%	-5.80%	6.70%	32.54%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

予想配当利回り	4.26%
---------	-------

※上記利回りは、信託報酬等を考慮しておりませんので投資者の皆様の実質的な投資成果や将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 76銘柄）

	銘柄	国名	比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ	7.1%
2	EQUINIX INC	アメリカ	4.0%
3	AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ	3.9%
4	ESSEX PROPERTY TRUST INC	アメリカ	3.5%
5	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	3.4%
6	INVITATION HOMES INC	アメリカ	3.4%
7	CUBESMART	アメリカ	3.3%
8	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.1%
9	REXFORD INDUSTRIAL REALTY IN	アメリカ	2.9%
10	REALTY INCOME CORP	アメリカ	2.8%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<資産構成比率>

資産	比率
不動産投資信託証券	98.6%
現金その他	1.4%

アジア・プロパティ・ファンド

【組入比率：0.0%】

※当ファンドが組み入れている「アジアリートマザーファンド」の内容です。

<分配金込み基準価額の推移>



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。
※2019年10月31日を10,000として指数化しています。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
-1.21%	-8.18%	-7.28%	4.64%	10.47%

※基準価額の騰落率は、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

予想配当利回り	6.40%
---------	-------

※上記利回りは、信託報酬等を考慮しておりませんので投資者の皆様の実質的な投資成果や将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<組入上位10銘柄>（銘柄数 19銘柄）

	銘柄	国名	比率
1	CAPITALAND ASCENDAS REIT	シンガポール	9.6%
2	CAPITALAND INTEGRATED COMMER	シンガポール	9.2%
3	LINK REIT	香港	9.2%
4	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	シンガポール	8.6%
5	FRASERS LOGISTICS & COMMERCI	シンガポール	8.4%
6	FRASERS CENTREPOINT TRUST	シンガポール	7.3%
7	CAPITALAND ASCOTT TRUST	シンガポール	6.5%
8	MAPLETREE PAN ASIA COMMERCIA	シンガポール	6.5%
9	LENDLEASE GLOBAL COMMERCIAL	シンガポール	5.9%
10	FORTUNE REIT	香港	5.1%

※当マザーファンドの純資産総額比です。

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

<資産構成比率>

資産	比率
不動産投資信託証券	96.9%
現金その他	3.1%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国の債券利回りは、上昇（債券価格は下落）しました。上旬から中旬にかけては、米国の雇用統計が概ね堅調な結果となったことや、米国の消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったこと、これらを受けて米国連邦準備制度理事会（FRB）による政策金利の引き上げの継続が見込まれたことなどから、利回りは上昇しました。下旬は、米国の市場予想を下回る製造業購買担当者景気指数（PMI）速報値やFRB高官のハト派（景気見通しに慎重）的発言などを背景に、FRBの金融引き締めペースの減速が期待されたことなどを受けて、利回りは低下（債券価格は上昇）しました。

10月の欧州債券市場では、各国の10年国債利回りは前月末比で総じて低下（債券価格は上昇）しました。ユーロ圏の鉱工業生産やドイツの生産者物価指数（PPI）が市場予想を上回ったことなどが利回りの上昇（債券価格は下落）要因となったものの、ユーロ圏の製造業購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を下回ったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めペースの減速が期待されたこと、欧州中央銀行（ECB）が今後の政策金利の引き上げに慎重な姿勢を示したこと、英国政府が減税政策を撤回したことなどを受けて、10年国債利回りは総じて低下しました。

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。堅調な内容の米国の雇用統計や市場予想を上回った消費者物価指数（CPI）などから長期金利の上昇懸念が強まったこと、公表された一部の大手IT企業の業績が低調な内容となったことなどが株価の重しとなったものの、ISM（全米供給管理協会）製造業景況感指数や購買担当者景気指数（PMI）速報値などが市場予想を下回り、一部報道などを背景に米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化への期待が強まったことなどから、株価は上昇しました。

10月の新興国株式市場は、前月末と比べて総じて上昇しました。世界的なインフレ懸念から新興国各国が政策金利を引き上げたことや、発足した中国の新指導部の政治方針や経済政策に対する懸念の高まりなどが、株価の重しとなったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化への期待が強まったことなどを受けて、相対的にリスクが高い新興国株式への選好姿勢が回復したことなどを背景に株価は総じて上昇しました。

アメリカドルは、円に対して上昇しました。上旬から中旬にかけては、米国の雇用統計が概ね堅調な結果となったことや、米国の消費者物価指数（CPI）が市場予想を上回ったこと、これらを受けて米国連邦準備制度理事会（FRB）による政策金利の引き上げの継続が見込まれたことなどを背景に、円に対して上昇しました。下旬は、日銀による金融緩和策の維持の決定が円買いの手控え要因となったものの、FRBによる金融引き締めペースの減速期待や、政府・日銀による為替介入とみられる動きなどを背景に、円に対して下落しました。

◎運用概況

市場では、米国連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が利上げの停止やペースダウンに関するヒントを示そうとしないことに、不満を抱いているようですが、これまでのところ、労働市場は堅調に推移しており、一方で、インフレ圧力後退の証拠が見られないことから、積極的な金融引き締め路線が進められることは、おそらく理にかなったものと考えられます。このように、FRBが金融環境を引き締める必要があることを考えると、パウエル議長の対応は妥当なものと思われます。FRBに対するハト派“ピボット（転換）”への期待が失望に変わった8月下旬の大幅な市場下落に比べて、特に、足元の市場の動きが、間違った方向に進んでいるようには見えません。今年は、ほとんど全ての資産が大幅なドローダウンに見舞われ、多くの投資家は、ポジションを引き下げた状態を維持しているとみられます。そのため、リスク・センチメントの回復の兆候が見られた場合には、リスク・テイクを逃さないよう、不安と期待が交錯する状態が続いていると思われます。

そのような中、株式市場では、これまで安定推移していた大手IT企業の業績にも陰りが見え始めたことに株価が反応し、バリュー株とグロース株の二極化が進み、今後もこの傾向が続くように思われます。他方、世界経済への影響が大きい中国経済の動向が注目されていますが、市場の期待とは裏腹に、本格的な経済再開は後ずれの可能性が高くなっています。しかし、市場へのインパクトを考慮すると、引き続き、注意深く見守る必要があると思われます。米ドルは、FRBの金融引き締め、世界経済の減速、また、米国が最も傷ついていない主要国との認識を背景として、ほぼ全通貨に対して上昇してきました。しかし、極端なタカ派色が織り込まれ、米ドルを取りまく背景も変化しているため、米ドル高のピークが近づいている可能性も示唆されます。そのような場合には、リスク資産が再び勢いを取り戻すことも想定されます。

ポートフォリオに関しては、ファンドの償還に向けて、各資産の売却を行いました。今後は償還まで安定的な運用を行ってまいります。

◎今後の方針

当ファンドは償還に向けて、ポートフォリオはキャッシュ化しました。長い間、ご愛顧頂きありがとうございました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額に変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. インカム収益が期待できる世界の様々な資産を中心に投資を行ないます。

- 主として、世界（日本を含む）の資産（債券、株式、不動産、商品（コモディティ）・その他）を投資対象とします。
- 世界の様々な資産への投資により、インカム収益や値上がり益などの獲得をめざします。

2. 市場環境などに応じて効率的な資産配分を行ないます。

- 市場環境の変化や各資産の基準価額変動への影響度合い、および市場見通しなどを勘案し、資産配分を調整します。
※リスク抑制のため、各資産の組入比率を引き下げ、キャッシュ比率を引き上げる場合があります。
- 投資対象とする投資信託証券の選定や組入比率の変更については、日興アセットマネジメントアジア リミテッドからの助言をもとに、日興アセットマネジメント株式会社が行ないます。

3. （毎月分配型）毎月、収益分配を行なうことをめざします。**（1年決算型）年1回、決算を行ないます。**

- 毎月分配型は、毎月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とし、毎決算時に収益分配を行なうことをめざします。
- 1年決算型は、毎年1月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に向ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2022年11月21日まで(2014年12月22日設定)
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 《ご参考》 (金額指定で購入する場合) 購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。 ※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 (口数指定で購入する場合) 例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。 購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.3%(税込)=33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくことになります。
--------	--

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し <u>年率1.22%～2.01%程度</u> が実質的な信託報酬となります。
------------------	---

当ファンドの信託報酬率(年率1.21%(税抜1.1%))に投資対象とする投資信託証券の報酬率を加えた、受益者が実質的に負担する運用管理費用(年率)について、委託会社が試算した概算値です。ただし、この値はあくまでも目安であり、実際の投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

その他の費用・手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	: 日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	: 日興アセットマネジメント アジア リミテッド
受託会社	: 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	: 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券、優先担保付バンクローン（貸付債権）、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券を実質的な投資対象としますので、債券、優先担保付バンクローン（貸付債権）、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券の価格の下落や、優先担保付バンクローン（貸付債権）の債務者、債券、優先担保付バンクローン（貸付債権）、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産、商品（コモディティ）の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、裏付けとなるローンの内容、種類、残存期間、利払いまでの期間および利率の条件などにより個別のローンごとに異なります。
- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴う不動産の滅失・毀損などにより、その価格が影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の債券、株式および不動産投信は、先進国の債券、株式および不動産投信に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・コモディティ連動証券の価格は、投資対象となる商品および当該商品が関係する市況や市況の変化などの要因により価格が変動するリスクがあります。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）は、公社債などの有価証券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。また、資産の転売についても契約上制限されていることがあり、ファンドの資金流動性に影響を与え、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券、株式および不動産投信は、先進国の債券、株式および不動産投信に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。
- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）の債務者が倒産等に陥り、利払いの遅延や元本の返済が滞るデフォルトが発生した場合、あるいはこうした状況に陥ると予想される場合、優先担保付バンクローン（貸付債権）の評価が下落（評価がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、担保の回収等により弁済されますが、担保価値の下落等によって、投資元本に対して投資した資金が回収できないリスクがあります。
- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）の主幹事行はローンの元利金を回収する責務を負っているため、主幹事行の破産や倒産等により、元利金の受け取りが遅延する可能性があります。
- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・上場投資信託証券について、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も上場投資信託証券の価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。

為替変動リスク

- ・一部の資産を除き、原則として、為替ヘッジを行なわないため、外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一部の資産において、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

有価証券の貸付などにおけるリスク

- ・有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

期限前償還リスク

- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）において、予定される利息および元本の支払いの他、債務者の選択による期限前弁済を認めることがあり、この場合は、予定されていた利払いの一部が得られないことがあります。

期限前償還に伴なう再投資リスク

- ・優先担保付バンクローン（貸付債権）が期限前償還された場合には、償還された金銭を再投資することになりますが、金利低下局面においては、再投資した利回りが償還まで持ち続けられた場合の利回りより低くなる場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「スマート・ラップ・グローバル・インカム（毎月分配型）／（１年決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社ＳＢＩ証券 ※右の他に一般社団法人日本ＳＴＯ協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○		○	
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○		○	
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3198号	○			
株式会社新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社ＳＢＩ証券） （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

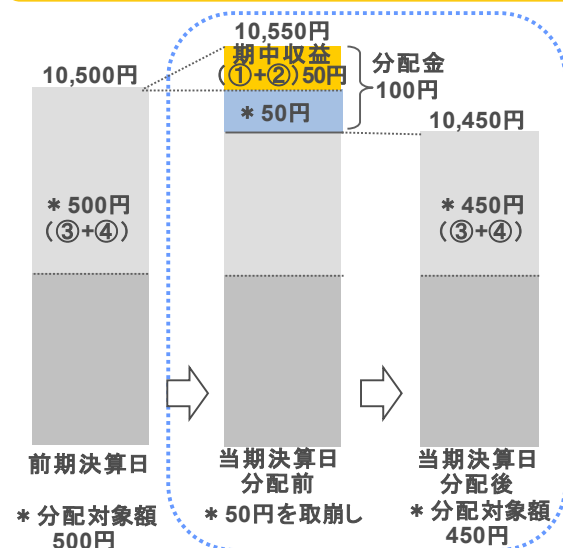
投資信託で分配金が支払われるイメージ



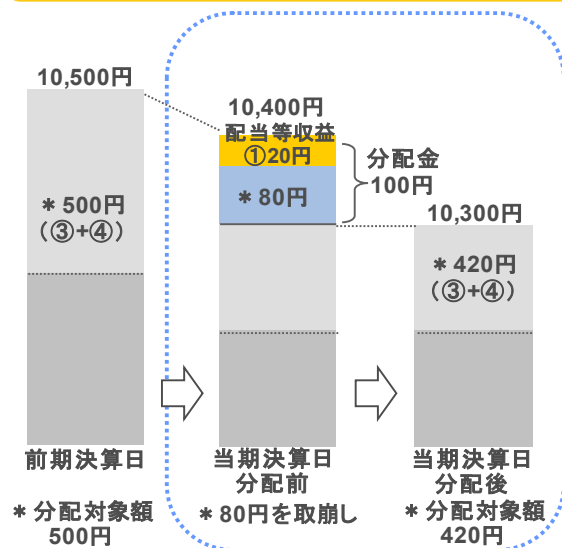
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

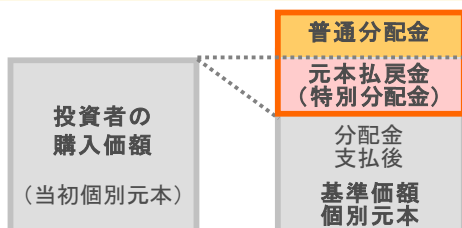


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

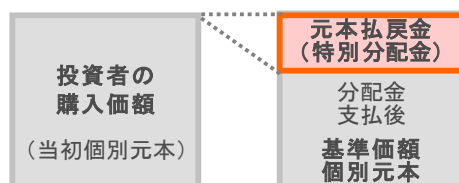
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。